

東北関東大震災：難病の子ども支援神奈川ネットワーク

このたびの大地震・津波の被害に遭われた方々には、こころよりお見舞い申し上げます。

私たち神奈川県小児科学会地方会の小児科医は、この難局に立ち向かう東北・関東の小児科医のみなさま、子どもたちとその御家族に、それぞれの立場から少しでもお手伝いできればと考えております。

私たちは、震災後に難病の子どもたちが治療の中断や、薬剤の枯渇による病気の再燃に困窮しているとの情報に接しました。また、ガソリンのない中、2日、3日ばかりで横浜にたどり着き、やっと薬剤の投薬を受け病気を押さえ込むことができた例も経験しました。そこで、神奈川県小児科学会地方会では神奈川県内の高次医療機関をネットワークで繋ぎ、難病の子どもたちを受け入れて治療を継続できる体制を整えました。

ここにお示ししたのは、第一報です。今後、さらに多くの医療機関から受け入れの情報が集まることになっており、第二報、第三報としてお示しできると思います。

まずリストをご覧になり、子どもさんの病気に対応可能と思われる医療機関（担当医）に連絡をとって下さい。あるいは、主治医の先生と相談なさって先生から担当医へ連絡をとって戴ければ幸いです。

ようやく18日以降、西日本より石油とガソリンが被災地に運びこまれるとの情報があります。したがって、神奈川までのアクセスは車、バスなどが考えられます。一方、自衛隊、その他の機関にヘリコプターを要請戴いても結構です。神奈川県内の着陸地のヘリポートは使用可能な状態にあります（横浜市立大学附属病院（福浦）の裏にあるヘリポート、市民総合医療センター屋上のヘリポートなど）。

難病の子どもたちが、この難局にあっても治療を継続できるよう、行政の方々、関連機関の方々には格段のご配慮を切にお願いする次第です。どうぞ宜しく願い申し上げます。

2011年3月18日

神奈川県小児科学会地方会

会長 瀧 正志

東北関東大震災緊急支援チーム

高橋 協、石原 淳、森 雅亮

小児科専門医療引き受けリスト(第2報)

平成23年3月22日現在

○ 横浜市立大学附属病院 電話:045-787-2800(小児科の各担当者を指名)、FAX:045-787-0461

グループ	受け入れ可能な疾患	関連学会などでの受入体制	担当者	受入可否
血液疾患	外科的治療の必要のない血液腫瘍疾患で内科的治療(化学療法など)対応可能	日本小児血液学会で受入可能な病院のメーリングリストを作成中	後藤裕明	○
新生児・未熟児	26週以降、人工呼吸管理を含めた対応可能	神奈川県周産期救急情報システムで対応	西巻滋	○
循環器疾患	循環器疾患で治療対応可能、手術など外科的な緊急手術も可能	特になし、神奈川県立こども医療センターと連携	岩本眞理	○
リウマチ・膠原病 結核	リウマチ性疾患のすべて、生物学的製剤治療中の患者、小児結核	特になし	今川智之	○

○ 横浜市立大学附属市民総合医療センター病院 電話:045-261-5656(小児科の各担当者を指名)、FAX:045-243-3886

グループ	受け入れ可能な疾患	関連学会などでの受入体制	担当者	受入可否
内分泌疾患	糖尿病・先天性代謝異常症	特になし	菊池信行	○
神経疾患	脳炎脳症、てんかん等急性中枢神経疾患 重症心身障害児	特になし	武下草生子	○
アレルギー疾患	気管支喘息	特になし	菅井和子 (藤塚麻子)	○
腎疾患	腹膜透析中の患者 血液浄化療法中の患者	特になし	原田知典	○
新生児・未熟児	周産期救急患者全般で対応可能	神奈川県周産期救急情報システムで対応	関 和男	○
リウマチ・膠原病 感染症、予防接種	リウマチ性疾患のすべて、 感染症および基礎疾患のある予防接種	特になし	森 雅亮	○

○ 昭和大学横浜市北部病院 電話:045-949-7000(病院代表:小児科の各担当者を指名)、電話 045-949-7820(小児科ホットライン) FAX:045-949-7927

グループ	受け入れ可能な疾患	関連学会などでの受入体制	担当者	受入可否
新生児・未熟児	すべて可能 但し、外科疾患は消化器、循環器のみ	特になし	北澤・井上	○
アレルギー疾患	喘息、アナフィラキシー	特になし	梅田・曾我	○
循環器疾患	循環器疾患で治療対応可能、手術も可能	特になし		○
その他	その他、専門家はおりませんが、できる限り対応させていただきます。	特になし		○
小児外科	小児外科疾患一般 但し、脳外科、整形外科などは対応困難です。	特になし	鈴木・大橋	○

○ 聖マリアンナ医科大学病院 電話:044-977-8111(小児科の各担当者を指名)、FA:X044-976-8603

グループ	受け入れ可能な疾患	関連学会などでの受入体制	担当者	受入可否
腫瘍性疾患	化学療法の継続を要する患者など	日本小児科学会で現在調整中	木下明俊	○(若干名可能)
神経疾患	てんかん重積1名 重症心身障害児2名 脳炎・脳症1名 その他一般神経疾患	特になし	山本 仁	○
循環器疾患	危急的な疾患を含めすべて	特になし	麻生健太郎	○
腎疾患	血液浄化療法(血液透析)以外の腎疾患	特になし	斉藤 陽	○
アレルギー疾患	気管支喘息	特になし	松田健志	○
内分泌疾患	内分泌一般、糖尿病	特になし	三宅哲雄	○
感染症	感染症一般、予防接種全般	特になし	徳竹忠臣	○
血液疾患	血友病および先天性出血性疾患	特になし	武藤真二	○
新生児・未熟児	新生児疾患全般	神奈川県周産期情報システムと連携した対応	吉尾博之	○

【備考】先天性心疾患に関しては疾患に応じて受け入れ可能な場合があるので要相談
日本周産期・新生児医学会東北関東大震災担当理事会在が急遽設立されているが、被災地域からの搬送受け入れに関する具体的な指針などはひょうめいされていない。

○ 神奈川県立こども医療センター 電話:045-711-2351(小児科の各担当者を指名)、FAX:045-721-3324

グループ	受け入れ可能な疾患	関連学会などでの受入体制	担当者	受入可否
血液疾患	全て(外科的、移植も含めて)	日本小児血液学会で受入可能な病院の メーリングリストを作成中	気賀沢寿 人	○
新生児・未熟児	全て(心臓外科、外科、脳外科含めて)	神奈川県の周産期救急情報システムで対 応	川瀧元良	○
循環器疾患	すべて(手術含めて)	特になし、神奈川県立こども医療センター と連携	上田秀明	○
感染、免疫	感染、免疫、リウマチ疾患すべて	特になし	赤城邦彦	○
内分泌疾患	全て(血液透析含む)	特になし	安達昌功	○
神経疾患	全て(重症心身障害児含む)	特になし	小坂 仁	○
アレルギー疾患	全て	特になし	栗原和幸	○
腎疾患	腹膜透析対応可。腎移植およびそのフォローは ×	特になし	高橋英彦	○
集中治療	全て	PICU net	林 拓也	○

○ 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 電話:045-366-1111(小児科の各担当者を指名、不在時は小児科救命当番)、FAX:045-366-1190

グループ	受け入れ可能な疾患	関連学会などでの受入体制	担当者	受入可否
血液凝固系疾患	血友病などの先天性凝固異常	日本小児血液、がん学会	山下敦己	○
神経疾患	脳炎脳症、てんかんなど中枢神経疾患、重症心 身障害児	特になし	橋本修二	○
アレルギー疾患	気管支喘息など	特になし	栗原八千 代	○
新生児未熟児	心臓手術の必要な新生児以外であれば制限な く受け入れ可	神奈川県の周産期救急情報システムで対 応	笹本優佳、 大野秀子	○
内分泌疾患	糖尿病など	特になし	栗原八千 代	○
腎臓疾患	ネフローゼ、腎炎疾患など(腹膜透析や血液浄 化療法中の患者は除く)	特になし	栗原八千 代	○
循環器疾患	乳幼児の心臓手術は不可能、定期診察と投薬 は可能	特になし	栗原八千 代	○

○ 北里大学病院 電話:042-778-8111 (小児科の各担当者を指名) または平日 9-17時 小児科外来 042-778-8498, 8431

FAX:042-778-9726

グループ	受け入れ可能な疾患	関連学会などでの受入体制	担当者	受入可否
循環器疾患	小児循環器疾患で治療対応可能、手術など外科的な緊急手術も可能	特になし	中畑弥生	○
新生児・未熟児	26週以降、人工呼吸管理を含めた対応可能	神奈川県周産期救急情報システムで対応	野渡正彦	○
神経疾患	てんかん 神経変性疾患 筋疾患	てんかん学会 小児神経学会からも調査	岩崎俊之	○
リウマチ 膠原病 免疫不全 アレルギー	小児リウマチ性疾患	特になし	坂東由紀	○
腎臓疾患	腎炎 慢性腎不全 腹膜透析 血液浄化療法	特になし	中村信也	
内分泌・代謝異常症	内分泌・糖尿病性疾患	特になし	大津成之	○
感染症一般 予防接種	結核の入院診療は不可	特になし	坂東由紀	○
呼吸器疾患	気管支喘息	特になし	金子忠弘	○
消化器・肝臓疾患	炎症性腸疾患 ウイルス性肝炎	特になし	藤武義人	○
PICU 対象	PCPS ECMO 血漿交換	特になし	金子忠弘 (救命救急・小児科)	○
小児外科	小児外科対象疾患全般	特になし	田中 潔 (外科)	○